



能登教区通信

このたび、標記通信2021年12月号を発行いたしましたので、ご一読のほど
お願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 幽溪 浩

教区教化事業のご案内

※会場は全て能登教務所(済美精舎)研修室です。

※新型コロナウイルスの感染予防に御協力ください。尚、感染状況によっては日程変更又は中止とする場合があります。

※感染症対策により参加人数制限をしていますので、必ず事前にお申し込みをお願いします。お申し込みのない場合、当日の参加をお断りする場合があります。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2021年12月18日(土) 午後2時～4時
- ・講 師 林 拓 氏(小松教区誓立寺)
- ・講 題 雑行を捨てて本願に帰す
- ・定 員 20名 ※先着順で締め切ります。チラシの申込用紙、メール、電話にてお申し込みください。
- ・参加費 500円

◆和讃研修会◆ 研修部門

- ・日 時 第1回 2022年1月12日(水) 午後1時30分～4時
第2回 2022年3月24日(木) 午後1時30分～4時
- ・講 師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・内 容 「高僧和讃」に学ぶ
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・定 員 20名 ※先着順で締め切ります。チラシの申込用紙、メール、電話にてお申し込みください。
- ・参加費 500円/1回
- ・備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

教化事業・その他行事のご報告

◇能登教区報恩講◇ 総合教化本部

去る11月12日(金)～13日(土)、済美精舎(能登教務所)において「能登教区報恩講」が厳修されました。事前準備から当日の執行、後片付けまで教区内の御寺院、ご門徒の皆様、多くの方のご協力をもって本年も無事勤めることが出来ました。ありがとうございました。

詳細については、来月の能登教区通信でご報告します。

◇門徒表彰並びに住職在任30年、坊守在任30年・50年表彰◇

例年、報恩講において受賞された皆様にご出席いただき、授賞式を行ってまいりました。今年も昨年同様新型コロナウイルス感染症の対応により、やむなく各表彰受講者から代表者1名にご出席いただき表彰式を行いました。今回受賞対象となられた方は、御門徒の宗務総長表彰が6カ寺18名、教務所長表彰が14カ寺32名、住職在任30年が8名、坊守在任50年が1名、同じく在任30年が5名、合計64名です。ここにお名前(敬称略)を御披露させていただきます。長年に亘る法義相続・宗門護持、寺門の興隆に御尽力賜りましたこと、衷心より厚く御礼申し上げます。

宗務総長表彰

第3山方組	光濟寺門徒	野崎豊昭	岡田昭一	垣内典穂	山岸喜一	西本理徳
		黒田幸夫	土橋裕久			
第7組	佛照寺門徒	地原 寿	古坊忠善	古坊勝行	笹川 稔	尾坂 先
	正圓寺門徒	橋本政幸				
鵜川組	善行寺門徒	漆瀬善己				
第12組	傳流寺門徒	野村 靖	窪 繁			
第14組	託因寺門徒	小林昭一	小坂康男			

教務所長表彰

第1組	浄善寺門徒	東谷 貢				
第2組	玉照寺門徒	水口浩信				
第3浜方組	光念寺門徒	田端正敏	瀧川 章	小松公一郎	久志 邦博	
	存立寺門徒	小杉正気				
第3山方組	誓伝寺門徒	寺尾芳雄	谷口泰順			
第4組	柳泉寺門徒	大矢菊治				
第6組	碧雲寺門徒	堀口一夫				
第7組	佛照寺門徒	小林義一	谷内 均			
	正圓寺門徒	山崎一彦	宮谷忠夫			
鵜川組	妙覚寺門徒	道本巖夫	赤坂美津子			
	善行寺門徒	岩下正雄	塩谷一郎			
第10組	福正寺門徒	中島利雄				
第12組	西永寺門徒	町駒隆廣	町駒恵子	上野一男	川村伊佐男	平野三郎
		清水政信	加藤正寛	豊蔵敬三	町口秀一	辻口末次
		上坂トシエ				
第13組	浄泉寺門徒	竹森義久				

住職在任30年

第1組	覺正寺	国門源量				
第3山方組	妙専寺	福岡弘宣	照願寺	坪井順成		
第4組	正念寺	西方政章				
第10組	西勝寺	西山郷史	専念寺	畠山義邦	永誓寺	完 恵
第11組	長正寺	寺田 彰				

坊守在任50年

第3山方組 覺龍寺 芳岡典子

坊守在任30年

第1組 覺正寺 国門加寿子

第4組 正念寺 西方敏子 正久寺 谷釜房子

穴水組 誓運寺 中堂憲子

第11組 蓮聖寺 高名祐美

教区慶讃法要推進委員会からのお知らせ

◇教区同朋大会兼宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要
教区お待ち受け大会について◇ 慶讃事業推進委員会/法要専門部会

各組巡回の折にもお伝えしておりました「教区同朋大会兼宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要教区お待ち受け大会(以下、「お待ち受け大会」)」について、先般慶讃事業推進委員会法要専門部会が開催され、日程や講師など開催に向けて決定したことをお知らせいたします。

なお、帰敬式に関するご案内については1月中旬を目途に皆様へご案内する予定で進めております。

詳細については12月開催の法要専門部会において協議されますので、来月号の教区通信にてお知らせいたします。

開催にあたっての基本方針

①執行体制について

慶讃事業推進委員会で主催する。尚、3つの専門部会を中心に、必要に応じて実行委員会を設置し運営する。

②教区同朋大会並びに慶讃法要教区お待ち受け大会について

- ・教区同朋大会と慶讃法要に向けたお待ち受け大会を機縁として、新たな教区教化テーマを設ける。
- ・募集人数は各組7名ほどを想定しつつ、新型コロナウイルスによる社会状況を鑑みながら慎重に検討していく。

③帰敬式について

- ・御親修(門首)にて執行する。
- ・法名は、本山または住職選定のいずれ(混在)でも可。
- ・申込は、門徒→寺院→教区のみ。門徒→教区は不可。
- ・募集人数は、現在の社会状況を鑑み最大200名とする。(1回100名×2回)

開催概要

開催期間	2022年5月21日(土)～22日(日)
会場	能登教務所(済美精舎)本堂
内容	御門首による帰敬式執行、教区同朋大会兼お待ち受け大会
日程	21日 13時～17時30分 帰敬式 22日 8時30分～12時 教区同朋大会兼お待ち受け大会
講師	22日 尾畑文正師(同朋大学名誉教授)
定員	帰敬式:100名×2回(最大200名)

本山・教区事務についてのご連絡

◇故 但馬前宗務総長宗派葬の執行について◇

去る2021年9月23日、62歳をもってご命終せられた、故 但馬 弘前宗務総長の遺徳を偲び、このたび、下記のとおり宗派葬を執り行うこととなりましたので、ここに謹んでお知らせ申し上げます。

- 1 日 時 2021年12月16日(木)午前10時から11時30分まで
- 2 葬 場 しんらん交流館2階「大谷ホール」
- 3 留意事項

※新型コロナウイルス感染症に対する感染防止の観点から、葬場内でのご参列(招待案内者)は一部の役職者・代表者のみに限らせていただきます。一般の方のご参列は受付及び焼香のみのご案内となりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※当日は午後4時まで同会場にてご弔問(焼香)を受付させていただきます。

※誠に勝手ながら、御香儀・供花の儀は固くご辞退申し上げます。

◇本山経常費年末完納について◇

能登教区では、「年末金」として12月中に多くの御寺院に経常費御依頼金を御完納いただいておりますこと、誠に感謝申し上げます。今年度の年末完納扱いは2022年1月20日(木)までとなっておりますので、何とぞよろしくようお願い申し上げます。

なお、ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までお申し付けください。(年末完納での申請の際は、額を10分の8に減額することができます。)

◇慶讃記念衣体について(再掲)◇

2023年にお迎えする宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた機運を高めるため、賞典として慶讃記念衣体をご用意させていただいております。(取扱いは2023年6月まで。)衣体の見本の画像を掲載したチラシを同封させていただきますので、ご覧ください。

記念衣体の申請・依用等には各種条件がございますので、詳しくは教務所までお問い合わせください。

◇教務所事務休止並びに事務休暇について◇

下記の期日、教務所大掃除のため事務休止とさせていただきます。

2021年12月22日(水)午後

下記の期間、年末年始事務休暇とさせていただきます。

2021年12月28日(火)～2022年1月6日(木)まで

※1月7日(金)より通常通り事務を始めます。休暇中はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。緊急の際には下記教務所携帯電話までご連絡ください。

緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

◇ゆうちょ銀行の送金料金改定についてのお知らせ◇

2022年1月17日(月)以降、「払込料金加入者負担」(料金受取人負担)の表示がある赤色の払込取扱票等による振込であっても、現金利用の場合には、110円を払込人様にご負担いただくこととなります。赤色の払込取扱票をお持ちの方は、料金改定の内容について、何卒ご注意ください。

「赤色の払込取扱票」

◇教区新年互礼会について◇

本年度の教区新年互礼会は、コロナウイルス感染者数は減少に転じているものの、“第6波”到来も想定されることなど、未だ先が見通せない状況であることから、開催いたしません。

◇本山経常費完納寺院◇(2021.10.1~10.31迄)

2021年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	教圓寺	願生寺	第4組	長教寺	満念寺
第2組	成正寺	子浦専勝寺	第6組	善通寺	願隆寺
第3 浜方組	善法寺		第14組	得源寺	

◇住職就任◇(教区通信11月号 掲載以降)

第11組 善正寺 慈耆 一生 2021年10月28日

◇代務者就任◇(教区通信11月号 掲載以降)

穴水組 慶樂寺 碓井 求(穴水組 慶樂寺衆徒) 2021年10月27日

◇敬弔◇(教区通信11月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第13組 頓聽寺 前坊守 等力 正子 2021年10月26日

第11組 称念寺 住職 浦西 豊 2021年11月15日

総合教化本部コラム

「お、やっぱり障子を張り替えると、何か本堂が明るくなったように感じるな」。

これは、去る11月1日、教区報恩講の準備のために済美精舎2階の本堂に上がって来た時の、小川兵作さんの嬉しそうな第一声です。教区推進員協議会会長である小川さんが音頭を取って、10月上旬に、延べ約100人の教区内推進員の皆さんで館内の障子の張替えをして下さったのです(『能登教区通信』2021年11月号に報告あり)。たくさんの方々がご尽力下さったので「四日間と半日で仕上げ、まるまる五日間はかからなかった」と満足顔でした。推進員の方々の行動力と、その元にある“念仏よ、広まれ”という願いの心。それらも、如来・聖人への報恩謝徳をあらわす大切なお荘厳であると有難く思われます。おかげで、本年の教区報恩講は、身の引き締まるような清々しさの中でお勤めできました。

この障子張替えということに関わって思い起こすことがあります。それは昭和26年1月末、暁鳥敏師が宗務総長に就任した時の話です。2年前の蓮如上人四百五十回御遠忌の借財を抱え、また10年後に宗祖の七百回御遠忌を控えている本山の厳しい状況を打開するために暁鳥師が抜擢されたそうです。後に“念仏総長”と讃えられた暁鳥師が就任した当初の本山の様子として、『暁鳥敏伝』(野本永久著)によれば、

「念仏の人—信念の人が一人入って来た事に依って一山の空気ががらりと変わった。表面の姿も変わった。例えば、(略)総長入山当時は、四十間四面の大堂の障子も大寝殿も白書院も本願寺中の障子という障子は悉く破れて寒風に虎落笛もがりぶえを立てていた。破れ障子は貧の象徴である。だがいつの間にか障子はどこも真白にピンと光っている。門前の人達が寒中障子洗をして張ってくれたのである。門前の人達といえればこれは本山あって生計を立てている旅館、詰所、仏具店その他の人達で(略)。

そして、

「次は、春も早くから“本山奉仕隊”という隊を組んで、各県から地方寺院の門徒達が奉仕に来はじめた。そこで本山側では、五月この受入れを組織化した」。

このような経過で“同朋生活運動”が提唱され、真宗本廟奉仕ということが始まっていったと言われています。まず近在の人達が手弁当で障子を張替えることから本廟奉仕が始まり、ひいては同朋会運動を生んでいったと言えます。

推進員の皆さんの手で真新しい障子に張替えられた済美精舎。先人達はこの精舎を、生きた教化の現場として活躍させるため、能登教区教化センターという教区教化の中心地として位置づけ、様々な教化事業を展開してきました。近年までは、洗面・浴室・厨房等の設備も整えているということで、宿泊しながらの多様な活用もされてきました。

私達の当面する重要課題として、教区改編が俎上に載せられ、また過疎化等の問題から教化事業の検討・改変が求められている昨今。では、この教区教化センター＝済美精舎はどのように位置付けられ、どのような任務を担うのか。真白に張替えられた障子があるように問いかけてきているように思います。

<文責:大窪祐宣(教化本部長)>

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン

一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

慶讃テーマ

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL

<http://ohigashi-noto.jp/>